

[今月の詩編]

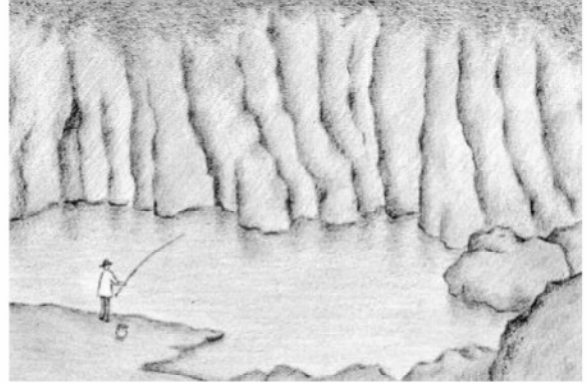
第36篇

あなたを知る人の上に

慈しみが常にありますように。

心のまっすぐな人の上に

恵みの御業が常にありますように。



聖霊に導かれる教会

今日は日曜日です。学校も役所も、多くの会社も休みです。でも、どうして日曜日が休みなのか知っていますか。それは、日曜日が神さまを礼拝する日だからです。

もともと日曜日は休みの日ではありませんでした。でもヨーロッパで、人々が日曜日に礼拝をしたので、休みになったのです。それが日本に伝わって、わたしたちも休むようになりました。

でも、どうして日曜日に礼拝をするのでしょうか。それは日曜日が、主イエスが復活された日だからです。主の復活は、教会にとって一番大事な出来事です。だからその日に礼拝をするようになったのです。

でもこのことは教会には難しいことでした。最初のクリスチャンたちはみなユダヤ人でした。ユダヤ人は安息日である土曜日に礼拝をしました。それを日曜日にしたことで、教会はユダヤ人社会からのけ者にされるようになったのです。

この前の礼拝で、使徒言行録第一〇章の、ペトロが見た幻の話を書きました。幻を見たペトロは、それまで汚れているとされたローマ人の兵隊の家を訪ねて、主イエスの話をし、彼らに洗礼を受けました。「すべての民をわたしの弟子にしなさい」という主イエスの言葉を知りながら躊躇していた弟子たちの背中を、聖霊が押してくださったのです。でもこれもユダヤ人社会から迫害される理由になりました。

今日の箇所の始めは「週の初めの日、わたしたちがパンを裂くために集まっていると」です。週の初めの日とは日曜日です。パンを裂くのは、聖餐式です。教会はユダヤ人たちと違う、自分たちの礼拝を始めました。それが、日曜日に集まって聖餐式をすることです。そして聖餐式の前には説教がなされました。

この時の礼拝は夜行われました。日曜日が休みでなかったからです。人々は一日働いて、夜礼拝をしたのです。説教後の聖餐が彼らの夕食でした。説教が長いと、夕食が遅くなります。この時はパウロが夜中まで説教したので、人々は眠気と空腹に耐えながら、礼拝をしたのです。

その時、窓際に座って説教を聴いていたエウティコという青年が、居眠りをして三階の窓から下へ転落しました。人々は彼が死んだと思いました。パウロが彼を抱きかかえ、まだ生きている、と言いました。それから彼らは礼拝を再開し、聖餐式をして、夜明けまでパウロの説教を聴いたのです。

このエウティコは恐らく後の教会で知られる人になったでしょう。若い時の失敗が語り伝えられたのです。でもこの教会が、パウロが語ったみ言葉を、一晩中でも聞いた話は、わたしたちの心を撃ちます。パウロ先生の話が聞けるのはこれが最後だと思ったからでしょう。聖霊はこのようにして、初めの教会を育ててくださったのです。

《 今日の礼拝 》

2019年7月28日 (日)

夏期礼拝 (10:00より)

- 前 奏 「みさかえこよなき」 R.ブムナ
- 讃 美 讃21 205番
- 十 戒
- 告白の祈り
- 献 金 エレクトーンによる讃美
「われをもすくいし」 讃美歌Ⅱ編 167番

- 奉 献 頌
- 使徒信条
- 牧会の祈り
- 主の祈り
- 聖書朗読 ガラテヤ書6章1～10節 (新約P.350)

- 説 教 「罪を犯した人には」
吉村和雄 牧師

- 讃美歌 讃21 409番
- 聖 餐 「聖餐式」 O.メソソ
- 報 告
- 頌 栄
- 派遣の言葉
- 祝 福
- 後 奏 「フーガト長調」 F.メンデルズゾーン

《 今日のお知らせ 》

- 礼拝後、全員で写真を撮ります。一旦退堂をして、それからもう一度礼拝堂に戻ってください。

- ロビーでのコーヒーサービスと、ぶどうの会はお休みです。礼拝後11時10分から、幼稚園舎1階のコスモスのお部屋で紫園香音楽伝道師の指導による賛美と祈りの会が開かれます。

- 吉村牧師と山名弘史書記は、今日の午後3時から、二宮教会で行われる湘南基督教墓苑組合の実行委員会に出席するために、午後1時半ごろ教会を出ます。

- いよいよ今週木曜日(8月1日)の夕方から、コイノニアキャンプが始まります。韓国と台湾の姉妹教会から合計46名の代表をお迎えします。参加なさる方々、よろしく願います。参加されない方々も、祈りをもって支えてくださいますように、願います。

- コイノニアキャンプのしおりを参加者の皆さまに配布しました。

《 次週の礼拝 》

夏期礼拝 (10時00分)

- 讃美歌 66番 286番
- 説 教 「神さまと共に歩く」
- 聖 書 申命記6章4～5節
ローマ12章2節
- 説教者 蔡伯倫 牧師(高雄新興教会)

